

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様の正常な使用状態で万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示の上、修理をご依頼ください。裏面の保証規定により無償で修理いたします。

※ 印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

● 商品名

Road View Pro DR-965RV

● 保証期間

※お買い上げ年月日 年 月 日から 1年間

※
お
客
様

ご住所 〒

TEL () -

※
販
売
店

店名/住所 〒

TEL () -



株式会社 **マルハマ**

〒 232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4

商品についてのお問い合わせは。。。

マルハマサービス フリーダイヤル 0120 (08) 1114

携帯電話よりおかけの方は TEL 045 (251) 2687

Road View 取扱説明書 PRO DR-965RV



お願い

時刻の精度を保持する為に1～2週間に一度RoadView Managerから時刻のアップデートをして下さい。

 **MARUHAMA**

■製品案内説明書

事故状況を証言する第三の目！

- >> 車両事故デジタル映像記録，衝突事故の状況を記録します！
- >> 前方車両出発自動感知，（Go-To アラーム機能）！
渋滞時に前方の車両が動きだしたことを知らせます。

[Road View Proは道路情報入手カメラとして、衝突事故の映像を記録するシステムです。]

- ・ 道路情報入手カメラ、ETC等は、道路運送車両法、保安基準第29条の前面ガラス装着規制から除外指定商品となっております。
※ 但し設置場所はルームミラーの裏に限られております。
- ・ 保証書は〔購入日、販売店〕などの記入を 必ず確認してお受け取り下さい。
- ・ ご使用の前に、取扱説明書、保証書をよく読んで、正しくご使用して下さい。
（必要な時にすぐ使えるため、保管して下さい。）
- ・ 一定加速度衝撃以下での事故時には映像 ブラックボックスデータが記録されない場合もあるので、この点に注意して下さい。
（映像ブラックボックス 機能参照）
- ・ 万が一未撮影のときの責任は負いかねます。
- ・ 記録された映像は、事故検証の補助的なものです。
※ 証拠としての効力があるとは限りません。
- ・ 不適切な使用及び装着、改造による故障、事故に対しては弊社は責任を負いかねます。
- ※ 本製品は安全運転のため補助する車両用便宜装置です。事故については 弊社は責任を負いません。
- ※ 取り付ける時は、必ず取付角度調整モードに従って取り付けて下さい（詳しくは、取扱説明書の“取り付け方法”をご参照下さい）。
正しく取り付けないと、正常な映像での撮影がおこなえません。ご注意下さい。
- ※ Windows XPとWindows 2000がインストールされたパソコン上でのみ動作します。

■目次

製品案内

1. 安全についてのお願いとご注意	4
2. 製品の構成	6
3. 各部分の名称	7
4. 映像ブラックボックス機能	8
5. Go-To 機能	10
6. MUTE ボタン 機能 / 音量調節	11
7. 音声案内	12

プログラムのインストール

1. ソフトのインストール	13
2. ドライバーのインストール	14
3. プログラム 重要機能	19
4. RoadView Pro 設定方法	21
5. 映像データダウンロード方法	23
6. 映像データ再生方法	25
7. 加速度 データ解析例	26

設置案内

1. 設置時 注意事項	28
2. 取り付け方法	29
3. カー電源コードの整理	32
4. 設置後点検事項	32

故障だと思いう前に	33
主な仕様	34
製品保証書	35

1. 安全についてのお願いとご注意

■ 安全についてのお願いとご注意

本製品を安全にご使用いただくには正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。この取扱説明書の表示には安全に正しく使用し、お客様や他の人への危害と財産への損害を防ぐために様々な絵表示をしています。ご使用になる前にこれらをよくお読みになり、内容を理解されてから使用してください。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外のご使用により発生した人身、物損事故などについて弊社は一切の責任を負いません。

■ 絵表示の例

-  △ 記号は気をつける必要があることを表しています（警告・注意）。
-  ○ 記号はしてはいけないことを表しています（禁止）。図の中や近くの表示の内容（左図は分解禁止）を示し、一般の禁止は○です。
-  ● 記号はしなければならないことを表します（強制）。（左図は差し込みプラグをコンセントから抜く）。一般の表示は●です。

■ 人身の安全のためにお守りいただくこと

-  ● 本機を濡らさないでください。水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。
-  ● 車を運転中に本機を操作しないでください。車を運転中に本機の操作をすることは交通事故の原因になります。運転中の運転者での操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。
-  ● ケースは絶対に開けないでください。本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ● 発熱・異臭・発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。これらの異常を検出した場合には直ちに本機の電源を切り、使用を中止してください。（カー電源コードを使用中の場合には車のシガーライターソケットから抜いてください）そのまま使用しますと火災や感電の原因になります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。
-  ●

■ けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと。

-  ● 衝撃や強い振動を加えないで下さい。衝撃の強い振動を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因になります。
-  ● ケースが汚れた場合は、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。シンナー・ベンジン・化学雑巾などを使用しますとケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際には必ず本機の電源を切り、カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。

機能上の制約

1. 製品のレンズ前に異物質またはステッカーなどが視野を遮る場合、正常な作動が不可能なので 装置前面部の清潔状態に常に注意して下さい。また、製品周囲に他のものが おいてある場合にも窓に反射されて見える危険があるので、設置した製品の周囲には他のものはおかないで下さい。
2. 初めに設置した時、正常に作動したとしても位置が変更すると誤作動の原因になります。作動が きちんとできないので 設置する時、しっかり装着して下さい。
3. 長い期間 使用した場合や、非舗装道走行などで、はげしい振動等で装置の角度の変更による 誤動作が 発生することもあります。平らな道路の停止状態で初期 位置にして下さい。
4. 一定加速度衝撃以下での事故時には映像 ブラックボックスデータが記録されない場合もあるので、この点に注意して下さい。（映像ブラックボックス 機能参照）
5. 大きな事故によって装置の電源が切れた場合には映像ブラックボックスデータが記録できないこともあるので、注意して下さい。
6. 本製品のハードウェア、ソフトウェア 及び データに対する全ての権利は製造社が保有しています。これの無断複製、加工配布時には民事上損害賠償はもちろん、私的 財産権保護管理法律により刑事処罰を受けることもあります。

2. 製品の構成

お買い上げ頂いたRoadView Pro は次の品目から構成されています。

- 本体（取付ステー・固定ネジ・取付位置補助部品）
- カー電源コード（5m）
- パソコン接続用 USB ケーブル
- ケーブルタイ
- マウント
- 予備両面テープ
- CD-ROM
- 取扱説明書兼保証書（本書）



本体



カー電源コード



USB ケーブル



ケーブルタイ



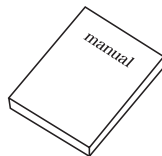
マウント



予備両面テープ



CD-ROM

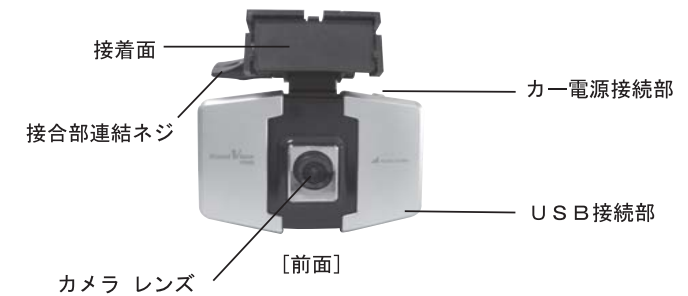


取扱説明書兼保証書
（本書）

3. 各部分の名称

[本体]

本体はカメラで前方状況を処理判断し、各状況に合わせて作動する製品です。



[側面]

4. 映像ブラックボックス機能

車両を運行している時や 停止している場合、接触事故や衝突事故が発生すると事故当時前後の映像を記録して同時に車両の情報を記録する機能です。

RoadView Proは運転中に事故が起これと、これを自動的に感知して映像及び加速度情報を記録します。RoadView Proは最大 10回の事故映像が記録できます。万一、使用中に衝撃と関係なく記録をする場合には、本体を手動で傾けると記録ができます。

10回の映像が記録された後、事故が発生すると最新の映像は、一番古い映像に上書きされます。映像の上書きを防止するためには RoadView Proの電源コードを抜いて下さい。映像を保存する場合は、付属の USB ケーブルでパソコンに接続しソフトを利用して保存して下さい。

事故発生時には“映像を記録しています。”記録が完了された後には、“映像の記録が完了しました。”と音声メッセージでお知らせします。



[RoadView Manager]

[事故発生時映像 及び データ 記録機能]

RoadView Proは車両に事故が発生するとこれを自動的に感知して、事故前 14秒 事故後 6秒の映像を実時間で記録します。また、同時に車両の 3 軸加速度 データと事故発生時刻を記録します。

[映像 及び 車両データ分析機能]

ブラックボックスシミュレーションプログラム RoadView Managerを利用して事故当時の映像とデータが分析できます。

次のような条件の場合、加速度の数値によって事故と判断し、映像とデータが記録されます。

加速度 $1G = 9.8m/sec^2$ と定義する。

加速度変化は 0.7秒間の変化量を意味します。

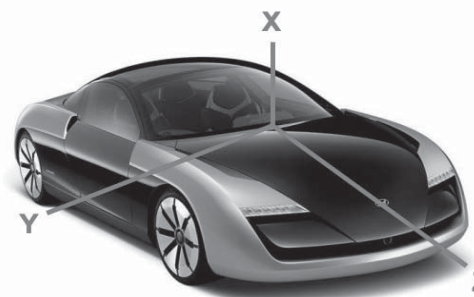
[映像ブラックボックス事故記録条件]

条件 1 : Z 線の加速度変化が 0.37G以上で X線加速度が 0.2G以下の時

条件 2 : Y 線の加速度変化が 0.37G以上で X線加速度が 0.2G以下の時

条件 3 : Zや Yの加速度変化が 0.64 G以上であれば記録する。

上の記録条件の敏感度は映像ブラックボックス プログラムを利用して調節が可能です。詳しい内容は [プログラム 案内] を参照して下さい。



5. Go-To 機能

Go-To 機能は車が停止した場合に、前車が出発すると、これを自動的に案内する機能です。車両が停止して 3秒後に作動が始まります。自車が移動するまで、一回だけ作動します。前車が少し移動すると、アラームが鳴ります。

Go-To機能の待機状態に入るには、前方車両に接近して下さい。前車がない場合には歩行者やその他、移動物体を感知してアラームが鳴ることもあります。

Go-To機能を ON/OFF するためには、本体後ろの MUTE ボタンを押して下さい。

※Go-To機能をOFFに設定すると、全ての音声サービスもOFFになります。

詳しくは“取付説明書の MUTE ボタン機能／音量調節”をご参照して下さい



[前方車両 出発時アラーム発生機能]

道路渋滞や信号待機時に停車している時、前車が出発すると自動的にそれを感じて“ピンポン!” 警報音で状況を案内します。

車両が停止すると、前方のカメラが前方を見ていて前車両が 出発するのを実時間で監察して前車両が出発すると音で案内する機能です。

6. MUTE ボタン 機能 / 音量調節

MUTE ボタンは一度押すたびに ON/OFF します。

⇒ 一回押した場合 : MUTE ON

⇒ 再び押した場合 : MUTE OFF

[MUTE ON : 音声サービス OFF]

MUTE ONする場合には“音声サービスを中止します。”とメッセージが流れた後、全ての音声 サービスが中止されます。

この場合には Go-To 機能が中止され、映像ブラックボックス機能はそのまま、作動します。但し、映像が記録する 状況では 音声メッセージは出ません。

[MUTE OFF : 音声サービス ON]

ONする場合には“音声サービスを開始します。”とメッセージが流れた後、音声サービスが 再可動します。Go-To 機能がもう一度始まって、映像が 記録する状況から音声メッセージが流れます。

[音量調節]

音量調節は本体を パソコンに連結した後、プログラムの設定機能で調節できます。

音量調節はプログラムを利用して調節して下さい。



MUTE ボタン

7. 音声案内

区分	案内 始点	音声案内	備考
ご挨拶	電源連結後、4秒以内	こんにちは、今日もロードビュー プロと共に安全に楽しく運転して 下さい。 記録された映像は〇〇件です。	
映像 ブラックボックス	映像ブラックボックス 記録開始	ピンポン～映像を記録しています。	
	映像ブラックボックス 記録完了	映像の記録が完了しました。	
Go-To	前車 出発後	ピンポン～	
MUTE ボタン	MUTE ON	音声サービスを中止します。	
	MUTE OFF	音声サービスを開始します。	
装置角度調整	角度が正しく 調整された場合	ピンポン～	
PC 連結	映像伝送開始	映像を転送します。	
	映像伝送完了	映像の転送が完了しました。	
システム	システム エラー		サポートセンターに ご連絡して下さい

* 案内メッセージは製品から流れる実際メッセージと若干の差がある場合があります。

1. ソフトのインストール

製品を購入した後、車両に装着する前に必ずソフトを 先にインストールして、ソフトを利用して RoadView Proの時間を 設定して下さい。

(RoadView Proをパソコンに接続することにより、自動的に時間は設定されます。)映像ブラックボックスに時間をきちんと、記録させるためには、最初に RoadView Proの時間を設定 して下さい。
RoadView Proを パソコンに接続してプログラムを実行すると、RoadView Proの時刻はパソコンから 自動Updateされます。
従って現在パソコンの時刻が正確なのか必ず確認して下さい。

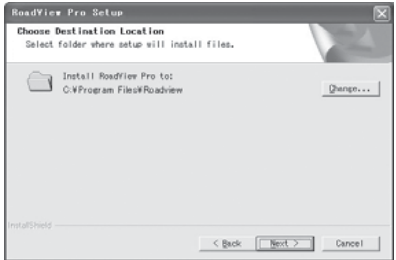
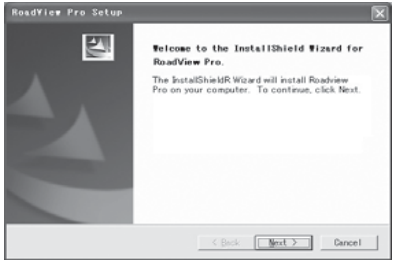
※ バックアップ用充電：時刻等のバックアップとして初回、パソコンと本体を連結し設定等終了後30分間位連結状態にしてから終了して下さい。

ご注意

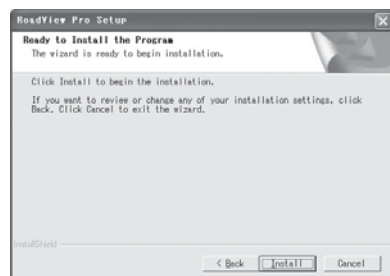
- ・プログラムの動作環境:Windows XP、2000
- ・Windows XPでご使用の場合、インターネット時計に設定していただくと、パソコン時間のくずれはありませんのでおすすめします。(P28参照)

(1)RoadView Pro を接続していない状態でプログラムCO-ROMをパソコンに入れます。下の画面が出てくると “Next” ボタンを押します。

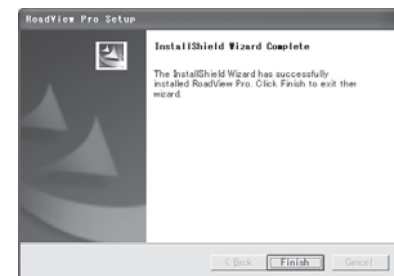
(2)下の画面が出てきます。
ソフトのインストール先に変更がなければ “Next” ボタンを押して下さい。
(インストール先を変更したい時は “Change” ボタンを押して保存場所を変更して下さい。)



(3) 下の画面が出てくると、“Install” ボタンを押して、インストールを開始します。



(4) インストールが完了すると次の画面が出てきます。“Finish” ボタンを押してインストールを終了します。



※ インストールは完了しましたが、ドライバ設定が残っています。ドライバ設定のため次の段階に進んで下さい。

2. ドライバのインストール：USB ドライバー

(1) RoadView Proに USB ケーブルを接続した後、PCの USBポートに USB ケーブルを接続します。



下記画面が出てきます。“いいえ、今回は接続しません（T）”を選択し、“次へ” ボタンを押して下さい。

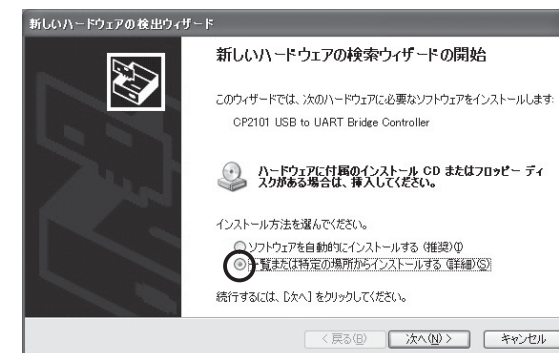


ご注意

WindowsのOSバージョンにより上記の表示が出ない場合があります。次の手順に進行して下さい。

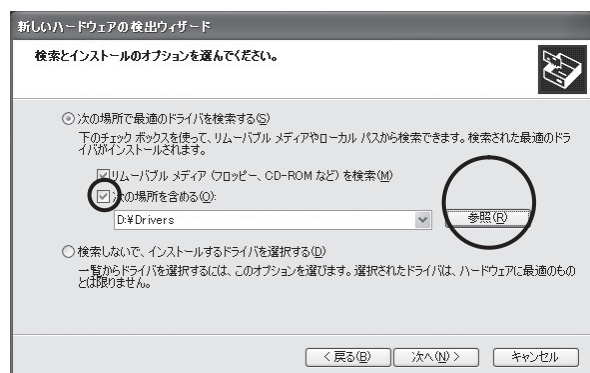
(2) 下の画面が出てきます。必ず “一覧または特定の場所からインストールする” を選択した後に “次へ” ボタンを押して下さい。

※ 上の過程を省略して “次へ” ボタンを押すと、ドライバが設定できない場合もありますのでご注意して下さい。



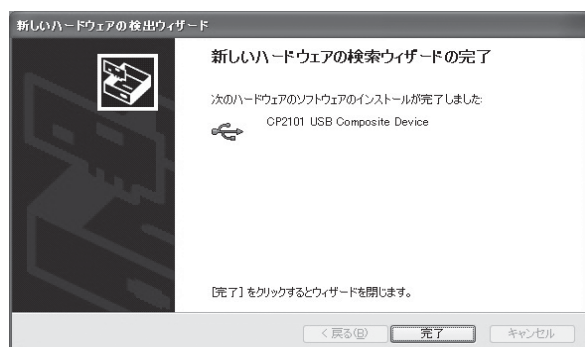
- (3) 下の画面が出てきます。必ず、“次の場所を含める”のチェックボックスにチェックを入れた後に“参照”ボタンを押して CD-ROMのドライブを設定します。上の過程が完了した後に、“次へ”ボタンを押して下さい。

※ 上の過程を省略して“次へ”ボタンを押すと、ドライバーが設定できない場合もありますのでご注意下さい。

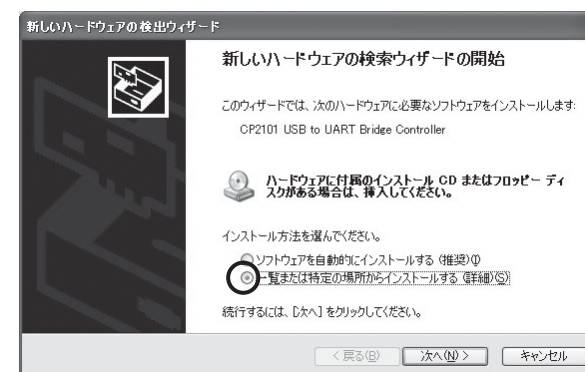


- (4) USB ドライバーが正常に設定できると、下の画面が出てきます。
“完了” ボタンを押して USB ドライバー 設定を終了します。

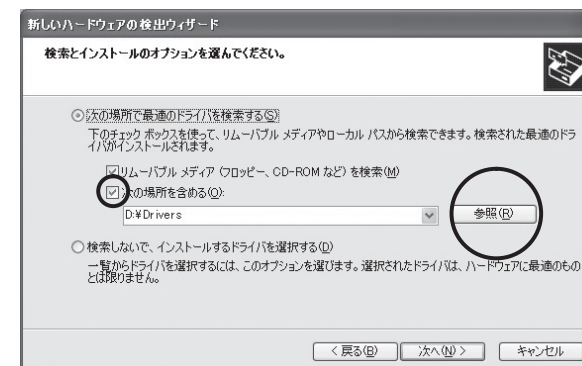
※ まだ UART ドライバー設定が残っています。UART ドライバーは USB ドライバー 設定と 同じ ような方法で設定します。



- (5) USB ドライバー 設定が 完了した後には下の画面が出てきます。
必ず “一覧または特定の場所からインストールする” 選択した後に “次へ” ボタンを押して 下さい。



- (6) 下の画面が出てきます。必ず “次の場所を含める”のチェックボックスにチェックを入れた後に“参照”ボタンを押して CD-ROM のドライブを設定します。上の過程が 完了した後に、“次へ”ボタンを押して下さい。



2. ドライバーのインストール：UART ドライバー

(7) UART ドライバーが正常に設定できると、下の画面が出てきます。
 “完了” ボタンを押して UART ドライバー 設定を終了します。
 RoadView Proに対するソフトとドライバー設定が完了しました。
 ソフト 実行と時間設定のために RoadView Proが パソコンに接続され
 た状態で RoadView Managerを実行して下さい。

デスクトップにRoadView Managerのショートカットアイコンが作成され
 ますので確認して下さい。



■接続テスト

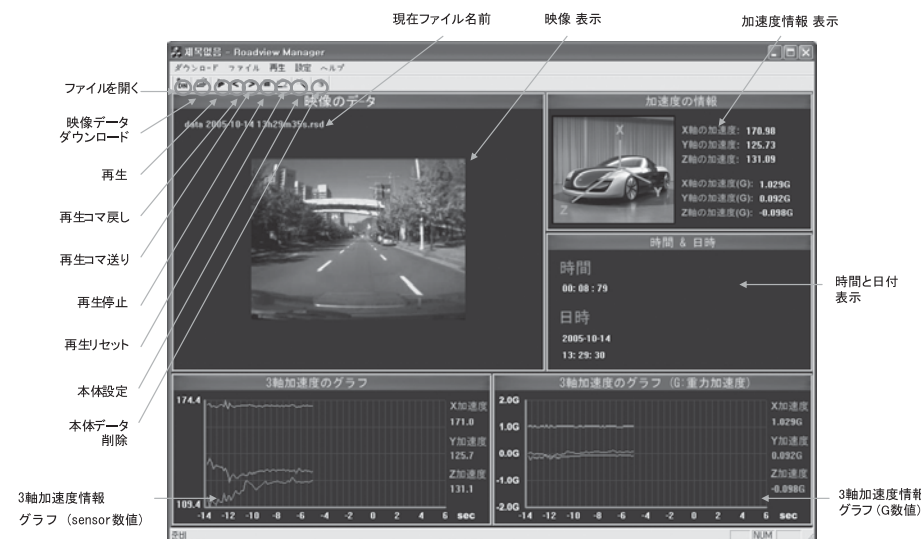
本体とパソコンをUSBケーブルで接続し、デスクトップ上のロードビュー
 マネージャーを起動すると“RoadView Proの時刻の設定が完了しました”
 と表示されます。
 下記表示であればインストールは全て完了です。



※“RoadView Proの時刻の設定が完了しませんでした”
 と表示された場合は本体とパソコンの接続を確認してください。



3. プログラム (RoadView Manager) 重要機能



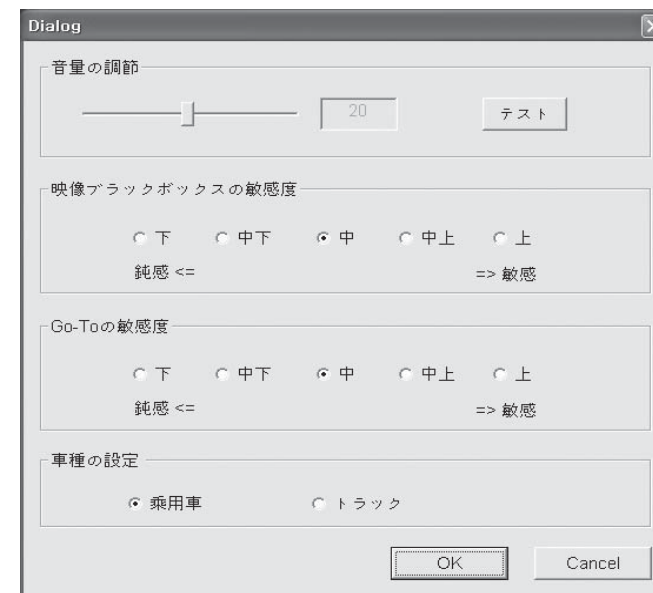
ご注意

〈安全な取り外し方〉
 画像のダウンロード中及び設定中にはUSBケーブルをパソコンから取り外さないでください。
 終了後に取り外してください。

- (1) ファイルを開く
記録された映像データを呼び出す機能です。ダウンロード後に映像データを再生するためには、記録された映像データファイルを 開いて下さい。
- (2) 映像データ ダウンロード
本体から映像データを パソコンに記録(ダウンロード)する機能です。
ダウンロードに関する詳しい方法は“映像データダウンロード方法”を参照して下さい。
- (3) 本体設定
本体の時間,音量, 映像ブラックボックス感度, MUTE を設定する機能で、最も重要な機能です。
- (4) 再生
呼び出したデータを再生する機能です。ボタンを押すと映像が再生されます。
- (5) 再生コマ送り
映像を 1カットずつ再生する機能です。このボタンを押すたびに映像が1カットずつ前に 再生されます。
- (6) 再生コマ戻し
映像を1カットずつ再生する機能です。このボタンを押すたびに映像が1カットずつ後ろに再生されます。
- (7) 再生停止
映像が再生中、停止したい時にこの機能を使用します。
- (8) 再生リセット
映像再生中に このボタンを押すと最初の映像に戻ります。
- (9) 本体データ 削除
本体内の映像データを 全部削除する機能です。(最大 10個データ同時削除)
映像データのダウンロードが完了され、これ以上の本体内のデータが必要ない場合削除ボタンを押して 下さい。

4. RoadView Pro 設定方法

RoadView Proの音量や時間、記録条件感度などを設定する機能です。
ソフトの“設定”ボタンを押すと次のような画面が出てきます。



(1) 音量調節部

RoadView Proの音声の音量を調節します。バーを調整して最適な音量を設定して下さい。“テスト”ボタンを押してから音量を確認して下さい。

初期 音量の数値は 20で、最少 1から最大 40まで調節可能です。

(2) 映像ブラックボックス 記録条件敏感度設定部

映像ブラックボックスの事故記録条件の敏感度を設定します。

基本的にはマニュアルに明記された条件で事故を判断します。

しかし記録条件が敏感 すぎると(あまりにも記録される時が多い)、“中下”か“下”を選択して下さい。逆に、鈍いと、“中上”か“上”を選択して下さい。

(3) Go-To 敏感度設定部

Go-To 機能の敏感度を設定します。

敏感度とは前車が出発した後、警報音が鳴るまで掛かる時間を意味します。

前車出発後に警報音があまりにも早く鳴ると判断しましたら、“中下”か“下”を選択して下さい。逆にあまりにも遅く鳴ると判断しましたら、“中上”か“上”を選択して下さい。

(4) 車種設定部

本体の Go-To 機能が正しく 作動するためには車種が設定は必要です。

車種は大きく乗用車とトラックに分けられます。

RoadView Proを装着する車両が乗用車や RV のような低い高さの車両なら“乗用車”を、バスやトラックのような高さのある車両であれば“トラック”を選択して下さい。

※ 全ての設定が完了しますと画面の下の“OK”ボタンを、設定を取り消したいなら“Cancel”ボタンを押して下さい。

※バックアップ用充電:時刻等のバックアップとして初回、パソコンと本体を接続し設定等終了後30間接続状態にしてから終了してください。

※ご使用になる前に映像が記録されるか、ご確認ください。

5. 映像データダウンロード方法

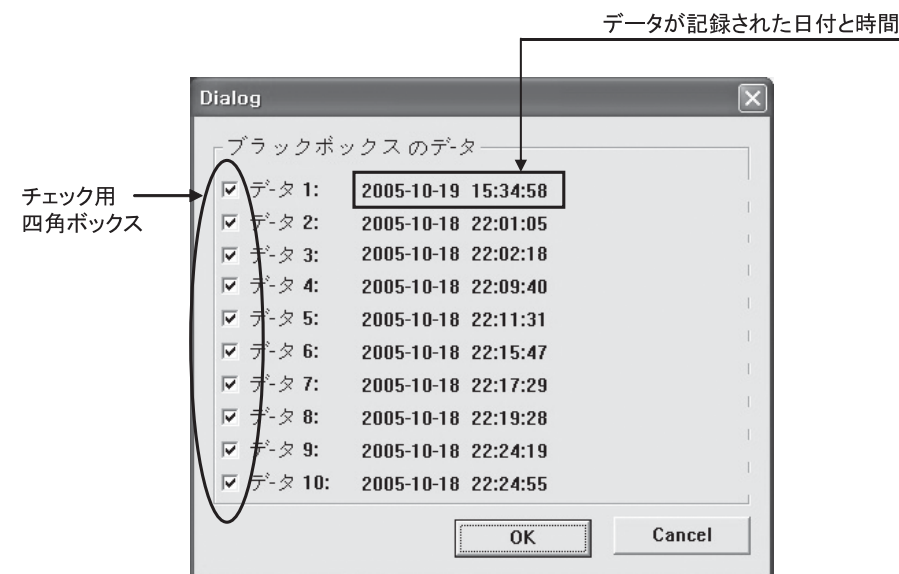
(1) ソフトを実行します。(“スタート → すべてのプログラム → RoadView → RoadView Manager”)



(2) ソフト“ダウンロード ボタン”を押して下さい。

下の画面が出てきます。記録されたデータ中に ダウンロードしようとするデータの左側の四角ボックスを チェックします。

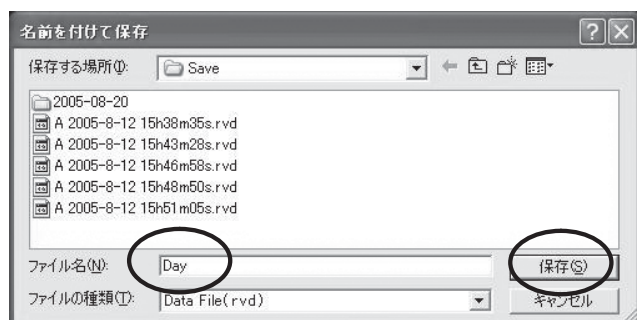
チェックが完了された後には“OK” ボタンを押して下さい。



[画面]

※ダウンロード中はUSBケーブルを抜かないで下さい。

- (3) 下の ファイルの記録ウインドズが出てくると、ファイル名を入力した後に
 “保存” ボタンを押して下さい。ファイルは“ファイル名、記録日付、記録時間.rvd”
 で 記録されます。ファイル例: New 2005-8-14 15h22m10s.rvd =>
 2005年8月14日 15時 22分 10秒に記録されたデータ
 (ファイル名の変更がなければ、“保存” ボタンを押して下さい。この場合には
 “RoadView 記録日付、記録時間.rvd”で記録されます。)



- (4) PCで映像データ 伝送が始まります。
 データ伝送は選択したデータ数だけ伝送されます。

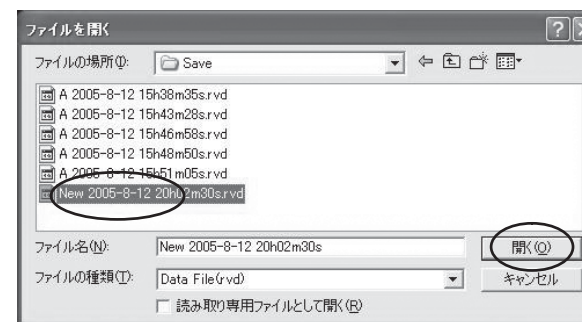


ダウンロード進行状況説明
 Downloading... Data No. 2 24% (8 Data Left)
 Data No. 2 : 現在ダウンロードされている
 データ 番号
 24% : データ ダウンロード進行率
 8 Data Left : 残ったデータ数

残ったデータ数が 0でデータダウンロード進行率が 100%になると、全てデータ ダウンロードが完了されました。

6. 映像データ再生方法

- (1) ソフトを起動します。(“スタート → すべてのプログラム → RoadView → RoadView Manager”)
 (2) ソフトの“ファイルを開く”をボタン押して下さい。
 (3) 下のファイルを開くウインドズが出できたら、ファイル名を選択して開くボタンを押して下さい。

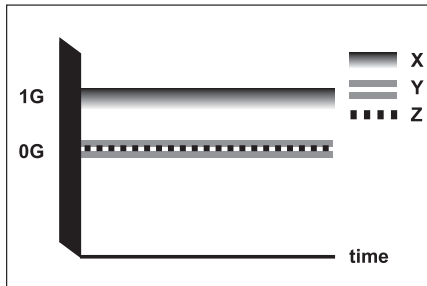


- (4) 再生ボタンを押して下さい。
 開いたデータ映像と加速度情報が再生、表示します。
 映像を 1カットずつ再生するためには 再生コマ送り、コマ戻し 機能をご利用下さい。

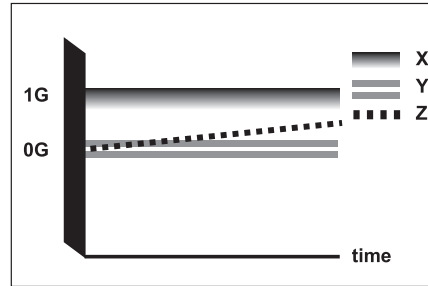


7. 加速度 データ解析例

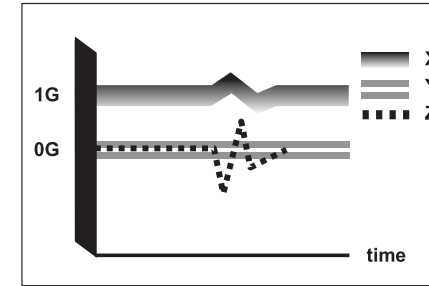
[停止状態]



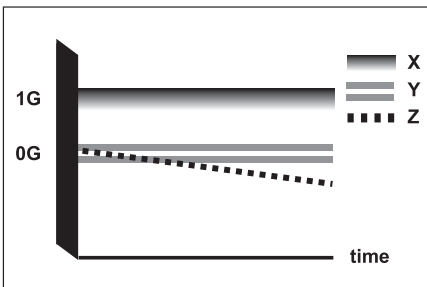
[減速状態]



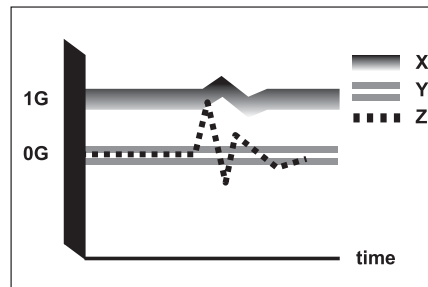
[後方衝突状態]



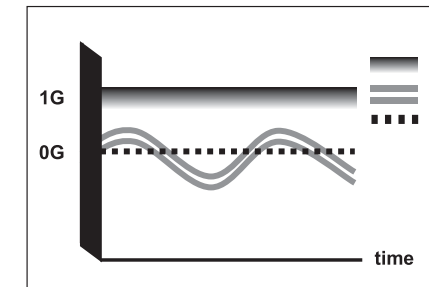
[加速状態]



[前方衝突状態]



[カーブ道運転状態]



1. 設置時 注意事項

- >> RoadView PROは設置する時角度と水平維持が重要な製品であるため、平らなところで設置作業を行って下さい。
変速レバーをN段にしても車両が全然動かない平らなところに取り付けて下さい。
- >> 取り付けた後で整理に必要な場合は、マウント、ケーブルタイをご使用下さい。
- >> 車両フロントガラスのルームミラーの裏(運転者の視野を妨げないところ)に取り付けて下さい。
- >> ルームミラーを動かしても邪魔にならないかどうかを確認し、邪魔にならない位置を選んで取り付けて下さい。
- >> 車両に取り付ける前に取付位置のガラスを乾布などで綺麗に拭いて下さい。
- >> エンジンをかけて音声が出るのを確認して下さい。
- >> Go-To機能が正常に作動するためには車種設定が必要となります。
必ず RoadView Proをパソコン接続した後、ソフトの設定機能にて車種を選んで下さい。
- >> インターネット時刻の設定をおすすめします。

①コントロールパネルから日付と時刻を選択



②インターネット時刻を選択



③「自動的にインターネット時刻サーバーと同期する(S)」にチェックを入れてください。



2. 取り付け方法

乗用車や RV車両の場合、下のようにフロントガラスの真ん中の上にあるルームミラー前に取り付けます。

バスやトラックの場合には取り付け角度に注意して下さい。フロントガラスの真ん中に位置していないと Go-To 機能がまともに動作しないこともあります。

ルームミラーは運転者または同乗者がよく操作することがあるため、RoadView Proがルームミラーの動作範囲内に入らないように少し距離をおいて取り付けて下さい。もう一度取り付けたりすることもありますので、本体を取り付ける前に上の注意事項を必ずご確認ください。



取付位置例



ルームミラー干渉注意

本体には基本的に本体取付治具が取付ステーに連結されています。
本体取付治具はフロントガラスに取付ステーの両面テープのカバーをはがした上で RoadView Proをフロントガラスに密着した状態で自由に動けるようにサポートする治具であります。

2. 取り付け方法

本体を車両のフロントガラス面に装着するためには次の順番に従って下さい。

カメラのレンズに装着されているレンズカバーを外してから順番に従ってガラス面に装着してください。

ステップ 1. MUTE ボタンを押した状態でカー電源コードをシガーソケットに接続し、MUTE ボタンを押し続けると取付モードになります。
音声で、“取付角度調整モードを開始します”と案内がながれます。

ステップ 2. 取付ステーの両面テープを外します。

ステップ 3. RoadView Proを車両の中央に合わせます。

ステップ 4. RoadView Proを前ガラスに密着させます。



ステップ 1



ステップ 1



ステップ 1



ステップ 2



ステップ 3



ステップ 5

ステップ 5. RoadView Pro を左右、前後に調節し位置を合せます。位置が正しく合うと“ピンポン”と音でお知らせします。

ステップ 6. 位置があったら取付ステーの上部をフロントガラス面にしっかり押してください。本体位置補助部品（本体取付治具）が外れフロントガラスに装着されます。外れた本体位置補助部品は新たに取り付ける場合に必要となりますので、保管してください。

ステップ 7. 調節が終わったら、接合部の連結ネジを時計回りに回して接合部をしっかり固定して下さい。

ステップ 8. もう一度、カー電源コードをシガーソケットから取り外してまた接続すると取付モードが解除します。又は、MUTE ボタンを押すと、“取付角度調整モードを中止します。”と案内がながれます。通常動作に入ります。

※ 映像データをパソコンにダウンロードしようとする場合 RoadView Pro を車両から取り外さないといけません。この時には接合部連結ネジを反時計回りに回して接合部と本体を分けて下さい。



ステップ 5



ステップ 6



ステップ 6



ステップ 6

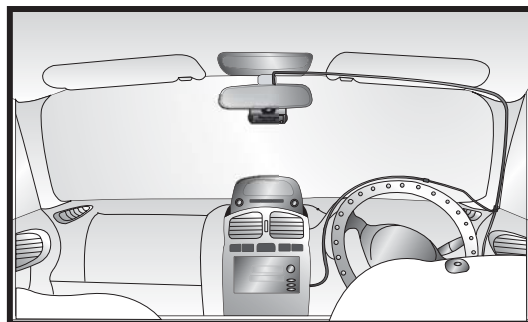


ステップ 7



ステップ 8

3. カー電源コードの整理



RoadView Proのカー電源コードをすぐにシガーソケットに接続するだけでもRoadView Proの全ての機能が正常に作動します。
マウントとケーブルタイなどを使って配線を整理して下さい。

[マウントの使い方]



1. マウントの裏側のステッカーを取り除いた後、付けたい面に付着して下さい。



2. ケーブルタイをマウントに差し入れます。



3. カー電源コードを付着してあるマウントの上に置きます。



4. ケーブルタイを引っ張ってしっかりカー電源コードを固定してケーブルタイの端の部分を取り除きます。

4. 設置後点検事項

- >> 始動させた時音声メッセージが出るか確認して下さい。
- >> 本体が内部ルームミラーを動かすのに邪魔にならないかを確認下さい。
- >> 設置位置にしっかり装着されているか確認下さい。
- >> 本体の角度が地面と垂直になっているか確認下さい。
- >> お客様の車両に合う車種に設定されているか確認下さい。
- >> カメラのレンズカバーを取り外しているか確認下さい。
- >> ご注意:ご使用になる前に映像が記録されるか、ご確認ください。

故障だと判断する前に

- Q : 映像が記録できません。
A : 映像ブラックボックスは衝撃が一定な加速度の条件の場合に作動します。現在の状況など確認して下さい。
- Q : 音が出ません。
A : カー電源コードがしっかり接続されているか確認して下さい。カー電源コードが接続されていないと音がしません。現在、MUTE ON 状態なのか確認して下さい。音量の調整が最小になっていないか確認して下さい。音量が最小の場合、周囲の状況により聞こえないこともあります。
- Q : Go-To 機能が作動しません。
A : 装置の角度がしっかり設定されているか確認して下さい。MUTE ボタンを押した状態でカー電源コードを接続し設定案内に従って設置角度をもう一度調節して下さい。Go-To機能は車が停車した時に作動します。車が停止しているか確認して下さい。
- Q : 記録映像の時刻がくるう。
A : 時刻の精度を保持する為に1~2週間に一度RoadView Managerから時刻のアップデートをして下さい。
- Q : 製品から熱が発生する時があります。
A : 暑い夏や直射光線などのところで長く使うと熱が発生することもあるが、内部回路と音声制御部分から熱が発生することもあります。故障ではありません。使用していない状態で長く直射光線に当たると製品に悪い影響を与える恐れがあるので、日陰のところで保管して下さい。

主な仕様



- 正常可動電圧 : DC12V、24V
- 最小可動電圧 : 8V
- 最大可動電圧 : 36V
- 最大電力消費量 : 3W
- 作動温度 : -20度 ~ 70度
- 保存温度 : -40度 ~ 85度
- カメラタイプ : カラー CMOS カメラ
- 最大画素数 : 35万画素
- 有効画素数 : 32万画素
- 最小映像記録数 : 20 frame / sec
- 最低作動照度 : 1 Lux
- レンズの角度 : 左右120度
- 映像記録解像度 : 320 x 240 pixel
- 本体サイズ : 95(W)x 64(H)x 20(D)mm
- 本体重量 : 110g
- プログラムの動作環境 : Windows XP、Windows 2000

保証規定

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常なる使用状態において万一故障した場合 には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は製品に保証書を添えてお買い上げ販売店に修理を依頼してください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の電源使用(電圧、周波数)及びその他天災地変などによる故障及び損傷
 - (ニ) 保証書のご提示がない場合
 - (ホ) 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
4. 保証書は日本国内において有効です。

■ 保証、アフターサービスについて

- 保証期間はお買い上げ日から一年間です。
保証書(本書に刷り込まれています)は必ず「お買い上げ日、販売店」などの記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 修理を依頼されるときはまず配線の状態及び操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常のあるとき修理依頼してください。
- 保証期間中は: 保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは: お買い求めの販売店にご相談ください。修理により製品機能が維持できる場合はご希望により有料で修理させていただきます。
- あらかじめご承知いただきたいこと。。。

修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に変わって同等品と交換させていただくことがあります。また出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご了承ください。